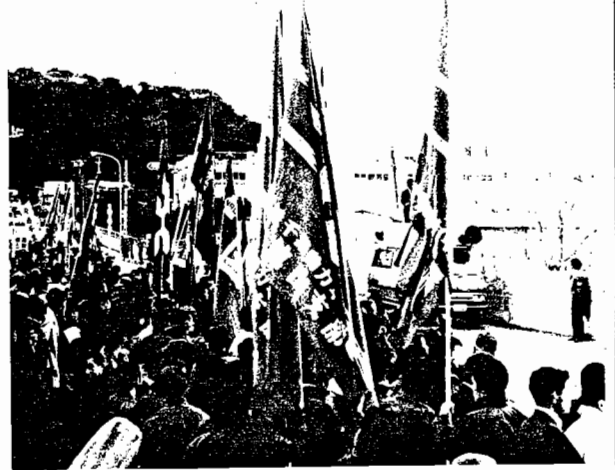


2/16 リムパック 反対! 館山基地へ抗議デモ貫徹!



館山支部先頭に60名が参加

2月16日、護憲反安保千葉県実行委員会の主催によるリムパック反対・館山基地からの対潜哨戒ヘリコプター参加に抗議する集会在館山市北条中央公園で開かれた。動労千葉は、地元館山支部を先頭に60名の部隊をもって参加し、三里塚軍事空港粉砕・二期工事阻止と固く結合し、リムパック反対・自衛隊増強・軍事大国化反対闘争を千葉県下の労働組合の階級的責務にかけて闘いぬこうと全参加者に訴え、海上自衛隊館山航空基地への抗議デモを最後まで闘い抜いた。

三里塚軍事空港粉砕と結合し千葉県下に反戦反基地闘争をまき起そう!

集会は、午後二時、議長に高野氏（国労）を出し開始された。社会党国会議員団を代表しての赤桐操参議院議員のあいさつに続き、主催者団体を代表して千葉県労連、社会党県本部、安房地区労代表からそれぞれ、リムパック反対、館山基地撤去を闘う決意が述べられた。とりわけ、館山基地の地元で闘う安房地区労吉田議長は、「館山基地の町である。今後は二度と戦争をくりかえさないという立場で反基地・戦争反対の闘いをつくり出す」との強い決意が表明された。

つづいて、千葉県反安保護憲実行委員会の市川福平事務局長からつぎのような基調報告が行われた。

「千葉県には、習志野空挺団、下志津高射部隊、嶺岡レーダー基地等の自衛隊基地が数多く存在する。戦争になれば最初に狙われる。館山基地はヘリ部隊の基地であり、いまだ基地拡張が策動されている。今後、対岸の横須賀と連帯して反戦・反基地闘争を強化しよう。

リムパックは日米軍事一体化政策であり、自衛隊の海外派兵の第一歩でありアジア・中東へむけた侵略行為そのものである。われわれは、千葉県下における侵略反対の闘いを一層強め、日米共同軍事演習強行に反対して、現在決死の闘いに立ち上っている宮崎県新田原住民の闘いや、沖縄における闘いに応えるものとして今日の闘いを貫徹しよう。」

館山自衛隊基地を撤去せよ!
基地正門前で抗議集会!!

また対岸の横須賀基地反対実行委代表の渡辺氏から「今回リムパック出撃の基地とされた横須賀は戦後35年間ずっと軍都とされ、今また軍備増強されている。軍用地解放の闘いをもって60%を

公共用地に変えさせてきたが、いまだ40%が米軍、自衛隊が占有している。横須賀住民は、これまで以上の反戦反基地闘争を闘う」とのあいさつがなされ、その後リムパック反対の集会決議が全体で確認された。

全力あげて2・24リムパック粉砕・横須賀集会へ!

今日、政府・支配者階級は、リムパック参加を切り口として、一挙に軍事大国化と侵略政策を強めている。国会答弁における「韓国との軍事演習も法的には可能」なる発言をもって公然と日・韓合同演習・朝鮮出兵をも宣言し、また関西経団連日向会長が「今や徴兵制度が必要だ」なる発言等。

全ての組合員の皆さん。館山集会の成果を更に発展させ、2・24リムパック粉砕・横須賀大集会に全力で決起しよう。



対潜哨戒ヘリコプター HSS-2（ちどり）

このリムパックに海上自衛隊館山航空基地から「ひえい」塔載、主力対潜攻撃ヘリHSS-2「ちどり」三機（乗員14名）その他多数が参加しているのだ。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ!